

令和7年度救命救急講習会 (心肺蘇生法、AED、止血法、窒息への対応)

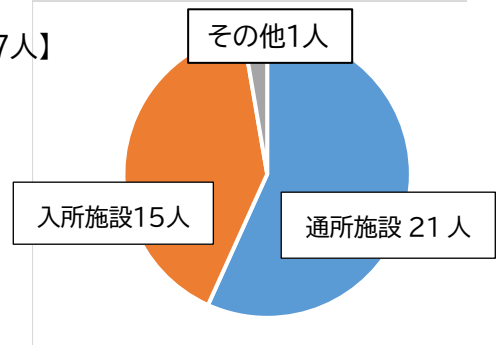
【日時】令和7年7月10日(木)

午後1時30分から午後3時30分まで

【場所】登米市消防本部 消防防災センター
3階大会議室

【対象】登米市に勤務されている高齢者入所・
通所施設職員

【参加者37人】



【内容】

(1)講話

担当:登米市消防署職員

・胸骨圧迫のポイントは、「強く・早く・絶え間なく」。

救命処置の流れとしては、①安全確認、②意識・呼吸の確認、③応援・AED の依頼・119番通報、④呼吸の確認、⑤胸骨圧迫・人工呼吸、⑥AED 装着となります。

・AEDは心臓が細動した状態を取り除く機器に過ぎず、心肺蘇生によって脳や心臓に血液を送り続けることが重要である等、実践やポイントを交えながら講話いただきました。



(2)演習

担当:登米市消防署職員 3 名・応急手当普及員資格を取得している介護職員1名

・講話後はモデル人形を使用し、演習を行いました。各グループに分かれ、胸骨圧迫、人工呼吸、AEDの使用方法について受講者全員が体験しました。

